

平成18年1月1日から平成26年10月31日までに川崎医科大学附属病院で肺癌と診断され手術を受けられた患者さんへのお知らせ」

## 研究課題名：抗エストロゲン製剤、アロマターゼ阻害剤投与中に肺切除を受けた非小細胞肺癌症例の臨床、病理学的特徴の解析

川崎医科大学附属病院呼吸器外科では、川崎医科大学・同附属病院倫理審査委員会の審査・承認を得て、平成18年1月1日から平成26年10月31日までに当診療科において肺癌の手術を受けられた患者さんを対象に、手術時に切除された肺癌組織を用いて、女性ホルモンの作用を阻害する薬剤（抗エストロゲン製剤、アロマターゼ阻害剤）が肺癌細胞に及ぼす影響について研究を行なっています。具体的には切除された肺癌組織のエストロゲン受容体およびアロマターゼというタンパク質の発現の程度と細胞増殖に関わるタンパク質を免疫組織染色で評価し、抗エストロゲン製剤、アロマターゼ阻害剤内服の有無で比較します。また手術後の再発率や生存率との関連も調べます。

新たに血液や組織を採取することはありません。また、個人が特定できる情報は、匿名化を行った後に解析されるため、外部に漏れることはありません。手術を受ける際に「手術で採取された病理材料の取り扱いと医学教育・研究使用に関する説明・同意書」に御同意いただいた方が対象です。なお、研究を行なうために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反といいますが、この研究では教員研究費のみを使用します。よって、このような利益相反の状態にはなりません。本研究の関係者は、日本イーライリリー株式会社、協和発酵キリン株式会社、CSL ベーリング株式会社と大鵬薬品工業株式会社より奨学寄附金をうけているが、利益相反委員会に申告し審査を受けており、適正に管理されています。なお、これらの企業は本研究に直接関係のない企業です。

ご質問がある方、この研究に御自分のデータを使用されることに「不同意」とする方は下記連絡先までご連絡ください。

### 問い合わせ先

研究責任者 川崎医科大学 呼吸器外科学 沖田 理貴

電子メール gts@med.kawasaki-m.ac.jp

電話 川崎医科大学代表 086-462-1111

呼吸器外科実験室 内線 25519

FAX 086-464-1124